

想定をはるかに超える巨大地震と巨大津波に襲われた 東日本大震災（2011年3月11日）

2011年3月11日14時46分、三陸沖を震源とするモーメントマグニチュード（Mw）9.0の地震が発生し、宮城県栗原市で震度7、宮城県、福島県、茨城県、栃木県の4県37市町村で震度6強を観測したほか、東日本を中心に北海道から九州地方にかけての広い範囲で震度6弱以下の揺れを観測しました。この地震により、東北地方から関東地方にかけての太平洋沿岸で非常に高い津波を観測し、多くの尊い人命が奪われたほか、電気・ガス等のライフライン設備、港湾設備、エネルギー基地、コンビナート施設、鉄道施設等にも甚大な被害をもたらしました。

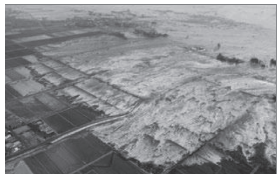
この戦後最大の地震災害は、「東日本大震災」と称されています。

名 称	平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震
発生日時	平成23年3月11日14時46分
震 源	三陸沖（北緯38.1度、東経142.9度、深さ24km）
地震規模	モーメントマグニチュード9.0
最大震度	震度7（宮城県栗原市）

※モーメントマグニチュード（Mw）：

岩盤のすれの規模（すれ動いた部分の面積×すれた量×岩石の硬さ）をもとにして計算したマグニチュードのこと。普通のマグニチュード（M）は地震計で観測される波の振幅から計算されますが、規模の大きな地震になると岩盤のすれの規模を正確に表せません。これに対してモーメントマグニチュードは物理的な意味が明確で、大きな地震に対しても有効です。

○被害状況



宮城県仙台市荒浜地区を襲った津波



津波により浸水した岩手県陸前高田市

人的被害	死者数：19,765人、行方不明者数：2,553人、負傷者数：6,242人
建物被害	全壊：122,039棟、半壊：283,698棟、一部破損：750,020棟、床上浸水：1,490棟、床下浸水：9,785棟
火災	発生件数：330件
ライフライン	電気：約258万戸停電（東北3県） ガス：約208万戸供給停止（東北3県） 水道：約230万戸断水